

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知県岡崎市立常磐南小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 444 - 3172  
岡崎市田口町字岩本 12 番地 4

E-mail : tokinan@st.oklab.ed.jp

Website : http://cms.oklab.ed.jp/el/tokiwaminami/

児童生徒数：男子 30 名 女子 23 名 合計 53 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( 地域の発展 )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【研究主題】

「未来へつなごう 常南のこころ」－ESDの視点に立った教育活動の展開－

【研究構想】

本校のESD構想は次の4つを柱とした

1. 常南のこころの醸成

- ①学区の自然・伝統・産業を誇りに思う心②学区の人や友達を大切にすること
- ③学区を守ろうとする心④学区のよさを発信し、より発展させようとする心

2. 持続可能な地域の定義

- ①経済的に潤いがあり、安定した生活が保障されていること
- ②環境が保全されており、安心して健康な生活を送ることができること
- ③社会が平和であり、伝統や文化が尊重され、誰もが平等に生活できること

3. ESD概念の分類

相互性・多様性・有限性…社会のしくみに視点（人と社会のつながり）

連携性・責任性・公平性…人の心の在り方に視点（人と人のつながり）

4. 常南5つの力の育成

- ①事実を的確に把握する力②物事を関係付けて考える力③解決策を考える力
- ④コミュニケーションを行う力⑤行動しようとする力

<理想の子供像> 学区を愛し、より発展させようとして働きかける子

これらを柱にし、理想の子供像に迫るため、以下のような仮説と手だてを講じた。

<仮説①>学区の自然・伝統・産業・社会を活用した追究活動において、ESDの視点に立ちながら、人・もの・ことの「つながり」を明確にしていく学習を展開すれば、子供たちは学区における良さや問題点を把握する中で、学区を誇りに思い、より発展させていこうと働きかけていくだろう。

<仮説②>子供・学校・地域が協働して、自然体験活動や伝統文化の継承活動を推進していけば、友達や地域の人と触れ合い助けあう中で、責任を持ち協力をしながら物事を成し遂げることの喜びを感じるようになり、人との「つながり」を大切にしていけるようになるだろう。

<手だて>①学区の教材化②つながり学習の展開③ESDチェックシートの活用

- ④学区人材バンクの整備⑤自然体験・伝統文化の尊重⑥すてきミーティング

【研究実践】

1年生活科「ときなんキッズ なかよし大作戦～友達となかよし～」

「ときなんキッズ 地域の人となかよし大作戦」

2年生活科「常南水族館を作ろう」「発見！常南大好き」

3年総合「志賀牧場のすごいを考えよう」「常南エコタウンのすてき」

4年総合「常南の野鳥自慢をしよう」「常南の野生動物とつなごう友達の輪」

5・6年総合「自然薯で常南町興しプロジェクト」

学校行事「ゴールドピアおかざき（老人福祉施設）訪問」雅楽・和太鼓クラブ

学校行事「喜楽の里（老人福祉施設）訪問」雅楽・和太鼓クラブ

すてきミーティング「学区の獣害について考えよう」「常南のすてきと未来」

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施

□ その他 ( )